

ニューヨークのオフ・ブロードウェイ・アライアンス  
最優秀ミュージカル賞受賞作品が、スクリーンでよみがえる！  
ミュージカルとテクノロジーの融合で贈る、時空を超えたファンタジー・ライド！

# アーネストに恋して

ERNEST SHACKLETON LOVES ME

ホントの自分に  
戻る勇氣、  
それは私自身。



BROADWAYHD PRESENTS  
ERNEST SHACKLETON LOVES ME  
Book by JOE DIPIETRO Music by BRENDAN MILBURN Lyrics by VALERIE VIGODA  
Starring WADE MCCOLLUM AND VALERIE VIGODA  
Costume Design CHELSEA COOK Lighting Design ALI WITTEN  
Production Design ALEXANDER V. NICHOLS Associate Production Design AHREN BUHMANN  
Sound Design ROBERT KAPLOWITZ Assistant Sound Design JEFF SHERWOOD  
Musical Direction RYAN O'CONNELL Orchestrations RYAN O'CONNELL and BRENDAN MILBURN  
Music Supervision CURTIS MOORE Assistant Director SARAH BLUSH  
Originally Produced for the Stage by MATTHEW KWATINETZ M3 PRODUCTIONS  
DR. ROBERT F. RYAN DONALD & YVONNE DAVIDOFF Executive Producer STEWART F LANE  
Producers BONNIE COMLEY GIO MESSALE Co-Producer BENJAMIN M. BIRNEY  
Directed for the screen by DAVID HORN Directed for the stage by LISA PETERSON

<キャスト> ヴァレリー・ヴィゴダ ウェイド・マッカラム  
<制作> 演出 リサ・ピーターソン 脚本 ジョー・ディピエトロ 作曲 ブレندان・ミルバーン 作詞 ヴァレリー・ヴィゴダ  
監督(シネマ版) デイヴィッド・ホーン プロデューサー ボニー・コムリー ジョー・メッサーレ エグゼクティブ・プロデューサー スチュワート・F・レーン

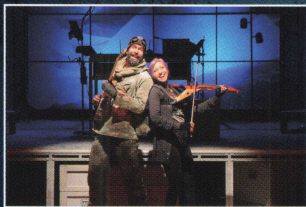
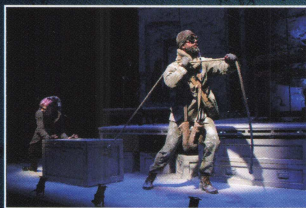
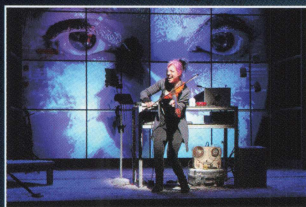
配給：松竹 ©BroadwayHD/松竹 (米国/2017/ビスタサイズ/88分/5.1ch)日本語字幕スーパー版

松竹ブロードウェイシネマ <https://broadwaycinema.jp/>

Instagram: [www.instagram.com/shochikucinema/](https://www.instagram.com/shochikucinema/) Facebook: [www.facebook.com/ShochikuBroadwayCinema](https://www.facebook.com/ShochikuBroadwayCinema) Twitter: <https://twitter.com/SBBroadwayCinema>

2024年10月4日(金)より 全国順次限定公開!

ディズニーのクリエイターでもある主演のヴァレリー・ヴィゴダ、  
ミュージカル『プリシラ』のウェイド・マッカラム共演！  
ビデオゲーム音楽の作曲家、キャット、独身。出会い系サイトで、  
伝説の冒険家アーネスト・シャクルトンと恋に落ちる!?



本作主演のキャットは独身のシングルマザー。ビデオゲーム音楽の作曲家として、仕事と育児に奮闘中である。ひよんなことから、伝説の冒険家アーネスト・シャクルトンと出会う。そこからキャットとアーネストの「冒険」が始まるのだが、型破りなアーネストに、今まで自分をおさえて生きていたキャットは、お互いに魅かれていく...

キャット役ヴァレリー・ヴィゴダの力強い演奏と歌声、そして、個性たっぷりのアーネスト役ウェイド・マッカラムと共に、2人が奏でるインパクトのあるミュージカル・ナンバーは、正しく痛快無比で、気持ち晴れる程である。ヴァレリーは、シンディ・ローパーのツアーに参加した事もある凄腕ミュージシャンと言うのも納得できる。

『アーネストに恋して』(原題: Ernest Shackleton Loves Me)は、セカンド・ステージ・シアターのトニー・カイザー・シアターでニューヨーク・プレミアを迎え、シアトルでの初演を経て、ニュージャージーとボストンを巡り、オフ・ブロードウェイに展開した。演出はオブイ賞受賞のリサ・ピーターソンが担当し、脚本はトニー賞受賞のジョー・ディビエトロ(「メンフィス」)が手がける。ヴァレリー・ヴィゴダが作詞、音楽はブレンダン・ミルバーンが作曲を担当し、音楽監督および編曲はライアン・オコンネル、音響デザインはトニー賞受賞のロブ・カプロウィッツ(「フェラ! (FELLA!)」)、舞台美術はアレクサンダー・V・ニコルズ(「ヒュー・ジャックマン、バック・オン・ブロードウェイ」)が手がけ、衣装デザインはチェルシー・クックという豪華布陣が務める。

『アーネストに恋して』(原題: Ernest Shackleton Loves Me)は、ネバーギブアップ精神と前進あるのみで突き進む、全ての人達へエールを送るミュージカルである。

キャットとアーネストが苦境に立つ時、見えて来るのは「一筋の希望」。人生に遭難しても、生還する術を、この作品は教えてくれる。

**【ストーリー】** 『アーネストに恋して』(原題: Ernest Shackleton Loves Me)は、子育てとビデオゲーム音楽の作曲家としてのキャリアの両立に奮闘する睡眠不足のシングルマザーが繰り広げる奇想天外で独創的なミュージカル冒険劇。ある夜更け、出会い系サイトに自己紹介動画を投稿した主人公のもとに、突然20世紀を代表するリーダーと称される南極探検家のサー・アーネスト・シャクルトン(1874-1922年)から返信が届く。南極で船が難破し流氷の上で身動きが取れなくなったシャクルトンは、時空を超えて主人公にアプローチし、壮大な冒険の旅へと誘う。思いがけないことに、二人は互いの中に自らを照らし導く光を見いだすのであった。

**「松竹ブロードウェイシネマ」とは?**

現代の舞台の本場はやはりアメリカ・ニューヨークのブロードウェイ。でも、そう簡単にニューヨークへ足を運ぶ事はなかなか難しい。そこで、お手頃な価格でゆったりと本場ブロードウェイの舞台を中心に数々の傑作を映画館でお楽しみ頂きたいーそんなコンセプトから誕生したのが、「松竹ブロードウェイシネマ」。松竹は映画や歌舞伎・演劇、その他沢山のエンターテインメントを扱っている、言ってみれば「総合芸術」な会社。だから映画と舞台の融合だって不思議じゃない。日本映画界史上初で、ブロードウェイの舞台を松竹が「映画館」から皆様へ、「最高な形」でお届けします!

©Jeff Carpenter

2024年10月4日(金)より  
[東京][大阪][名古屋]他  
全国順次限定公開!

東京	東劇【3週間限定公開】 03-3541-2711	東京	109シネマズプレミアム新宿 0570-060-109	東京	シネ・リー플池袋 03-3590-2126	東京	109シネマズ二子玉川 0570-077-109
埼玉	MOVIXさいたま 050-6865-4351	千葉	MOVIX柏の葉 050-6865-3401	名古屋	ミッドランドスクエアシネマ 052-527-8808	大阪	なんばパークスシネマ 050-6864-7125
京都	MOVIX京都 050-6865-3125	兵庫	kino cinema 神戸国際 078-230-3580	岡山	MOVIX倉敷 050-6864-7076	福岡	T・ジョイ博多 092-413-5333
熊本	熊本ピカデリー 050-6861-7645	北海道	札幌シネマフロンティア 011-209-5400	※T・ジョイ博多については公開日が異なる可能性がございます。決定次第、発表いたします。			